

- ◆ 会 場：柏崎原子力広報センター 2F 研修室
  - ◆ 出席委員：新野・川口・久我・佐藤・三宮・武本・渡辺委員…7 名
  - ◆ オブザーバー：保安院／今井所長 エネ庁／沼田所長 東京電力／伊藤技術担当 守GM
  - ◆ 事務局：柏崎市／藤巻主任 広報センター／押見事務局長 木村
- 

#### 次回定例会について

➤ 11月7日（水）18:30～

〈委員〉

- ・ 地質調査関連の報告は地域の会ではされていないのでは。

↓

〈東電〉

- ・ 地域説明会での説明内容の全体が 40 分程度。前半の部分は、前回、地域の会で説明させてもらったような内容であり、その他、地質調査の内容・地盤の測量結果・建物の傾きの測量結果等の説明であれば、20 分程度で中間的な報告になるが、できると思う。

↓

〈委員〉

- ・ 測量の話について。原発を造った時の測量の値があつて、2006 年に測った値もあるという。今回、地震後のデータが不明だというのはわかるが、以前の値を出さない東電の姿勢を問題としたい。
- ・ 建設当初の数値もあるわけだから、そういうものとの比較が一番いい。そういった形が分かりやすいし明確だとすれば、そうしてもらいたいと思うが。
- ・ 以前の数値を出してもらえば、東電が出した資料も正確に読めるはず。また、それとは別に建設時の値があつて、再度 2006 年に測量したことは、何か意味があつたのかという思いがある。
- ・ 建設時の数値というのは、出せないのか。以前 2 回の数値を出してもらえればそれでいい。
- ・ 以前 2 回の数値は絶対値で持っているのであれば、それを見せてもらえれば、今回相対的にどうだというのが示されているので、推測はできる。
- ・ 変化が示されているということは、元のデータがあるはずなので、それを見せてもらえばいい。
- ・ 建物が傾いたという件については、前回の会議では話しにあらなかった。建物が傾くということが、原発でおこったことが意外だという印象がある。
- ・ 何が起きているかみんなが知りたがっている。それを説明するには、データを出してもらわないとできない。東電は出したデータで十分という言い方をするから、姿勢に問題があると言いたい。
- ・ 今、東電としてはデータを出さないと言っているわけではないから、資料を出してもらえばいいだけのことであつて、嘘をついているとか、隠しているとかという発言は控えるべき。

↓

〈東電〉

- ・ 資料の提出については確認する。

〈会長〉

- ・ 出せるかどうかを確認してもらい、出せないのであれば出せない理由を聞かせてもらいたい。
- ・ それぞれの立場や考えの人がいる中、本当のことを知りたいという気持ちに対して、どの程度まで踏み込んでもらえるのかというところを理解してもらいたい。

➤ 内容

- ・ 地質調査の概要報告と質疑

#### 発電所視察について

➤ 委員より提案

- ・ 8月の頭に視察させてもらったが、詳しい説明をしてもらえない状況ではなかった。日程的に厳しい状況もあるが、11月中くらいには発電所を見せてもらう必要があるのではないかと。

〈東電〉

- ・ 点検の状況や、ボーリングの様子など、見てもらうことも可能だと思う。視察希望箇所があれば言ってもらいたい。

〈委員〉

- ・ 最近、プールの水漏れの件が出たのは7号機かと思うが、視察が可能であれば見たい。

➤ 実施時期

〈委員〉

- ・ 12月の定例会直後くらいの時期がいいのでは。
- ・ 11月は勉強会等あるので、かなり日程が厳しい。
- ・ 休日と平日、2日間を予定したらどうか。
- ・ 継続して2回くらい視察してもいいのでは。(2ヶ月後くらいに)
- ・ 12月9日(日)・10日(月)で検討。

#### 勉強会について

➤ 日程

11月17日(土) 13:30~16:30

12月 2日(日) 13:30~16:30 (第54回定例会として開催)

〈会長〉

- ・ 多数の委員さんから、地震関連のいろんな考えを聞きたいとの要望があり、当初、2人の講師の方から、同日開催を希望していたが日程があわず、2回シリーズでの開催とした。
- ・ 公開勉強会となるので、前段の広告が大事になってくる。2回実施するが一括りということで、2回分を一緒に広告したいと思うがどうか。

〈委員〉

- ・ 柏崎日報一社で、2回分同時に広告するというのでよい。

### 県外視察について

➤ 日程

2月24日（日）・25日（土）

〈委員〉 2月6日の参加者確定で間に合うのか。それ以前に打診するのか。

↓

〈事務局〉 2月6日以前に案内を出し、6日までに返事をもらうようにすれば間に合うと思う。

〈委員〉 前回の会議のときに、広報協会の視察が長すぎるということで、意見交換の時間のほうを長くするようにしたと思うが。

↓

〈事務局〉 修正する。

### 依頼案件について

➤ 原子力委員会 市民参加懇談会

10月29日（月）

- ・ 会長が発言者として参加。

➤ 浜岡 佐倉地区対策協議会に対する説明

11月10日（土）15時～16時

東京電力エネルギーホールにて

- ・ 地域の会の説明のみ。会長・副会長・事務局長が出席。

➤ 東海村との懇談会

11月中

- ・ 懇談の依頼であるので、運営委員の中から参加できる人は参加してもらいたい。

➤ 内閣府 原子力政策大綱に関する監査委員の依頼（会長宛）

〈委員〉

- ・ 個人として、会長が参加するのであれば問題はないが、会長の発言が会全体の意向として捉えられることに多少の懸念がある。
- ・ 委員会の出す結論によっては、会長の立場が悪くなることも考えられる。個人として参加したとしても同様のことが考えられるのでは。

〈会長〉

- ・ 後日検討する。

### 委員質問意見について

- ・ 東電に対する質問については、保安院と東電で回答を検討。

### 視点内容について

- 26号
  - ・ 次回定例会時に第52回定例会の原稿を委員配布。
  
  - ・ 衛星電話が使えなかった理由については、東電修正文に変更。
  - ・ 数値が本震時の地盤系の観測値というだけではわかりにくい。地下250mのほぼ解放基盤面の観測値であるから、それが伝わるような表現にしたほうがよい。
  - ・ 冷却用ボイラーではなく、冷却するにはボイラーが必要という意味合い。表現をわかりやすく。
  - ・ ボイラーが1台しか使えず→地震の影響でボイラーが1台しか使えずに変更。
  - ・ 保安院が実際に言っていない部分の表現は修正。

### 次回運営委員会について

- 11月14日(水) 18:30～ 和室にて
  - ・ 視点26号の審議等

### その他

- 勉強会の講師の石橋先生が、時間がとれればということで、当日の午前中に発電所見学を希望している。まだ、意向を確認中だが、確定したら東電に対応してもらいたい。
- ・ 確定したら、運営委員の中で都合のつく者が同行。